

社会科

中学一年地理歴史野外学習 ——9年間の実践記録——

川田 基生

1 はじめに

中学一年生の地理歴史野外学習も1977年、第一回、有松、見晴台を巡って以後、1986年、第九回、長者町、貝殻山貝塚コースまでで、九年つづいたことになる。

本校紀要、1982年「第27集」、原幸宏、丸山豊、「社会科におけるフィールド・ワーク」に前半5年間の報告がある。ここでは、その後の実践をも含めて記録することにする。

本校の野外学習は、バスを利用した一日行程で実施し、3～4ヶ所の下車見学、バス内での説明を主な内容としている。

2 行程概略

(1) 1977年度

[本校]—八事—相生山—天白川後背湿地—[有松、旧街道集落]—[見晴台遺跡]—[名古屋港九号地]—南陽通り・コンビナート—熱田神宮—[断崖山古墳・貯木場]—大須—[本校] ([] 印下車地点)

(2) 1978年度・1979年度

[本校]—長久手・岩作—[瀬戸民俗資料館]—[陶磁器センター]—[陶土採掘現場]—[雲興寺]—[小長曾古窯]—[本校]

(3) 1980年度

[本校]—名古屋市南部・近世新田・臨海工業地帯—[鍋田干拓伊勢湾台風殉難の塔]—[愛信農場]—[鍋田川水門(長島町)]—千本松原—[弥富町の金魚]—(立田村)—津島—[本校]

(4) 1981年度

[本校]—[キンピール名古屋工場]—[岩倉市児

童館] (昼食)—[松浦家鯉のぼり生産工房]—[清

州貝殻山貝塚資料館]—[二子山古墳]—本校

(5) 1982年度

[本校]—グリーンロード—[足助宿場町]—[岡崎城]—本校

(6) 1983年度

[本校]—グリーンロード—[足助宿場町] (徒歩、今朝平…本多家陣屋跡…加東家…マンリン小路…宗恩寺…荷ノ口会所跡)—香嵐溪(昼食)—[足助屋敷]—[本校]

(7) 1984年度

[本校]—[知多市民俗資料館(機織実地見学)]—[中電電力館(中電知多火力発電所見学)]—[知多エル・エヌ・ジー株式会社]—本校

(8) 1985年度

[本校]—[東海銀行貨幣資料館]—[長者町問屋街]—[貝殻山資料館]—[朝日貝塚発掘現場]—[本校]

3 コース決定のためのアンケート

「小学校時代に行ったことのあるところに○印をつけなさい。」1984年、本校中学一年89名を対象
95%以上の生徒が行った……東山公園(97%)

ことがある

94%～90%……………名古屋城(94%)

89%～80%……………トヨタ自工(86%)

熱田神宮、名古屋大学

79%～70%……………鶴舞公園

69%～60%……………大須商店街、金城埠頭
名古屋空港、市博物館

59%～50%……………中央卸売市場(熱田)

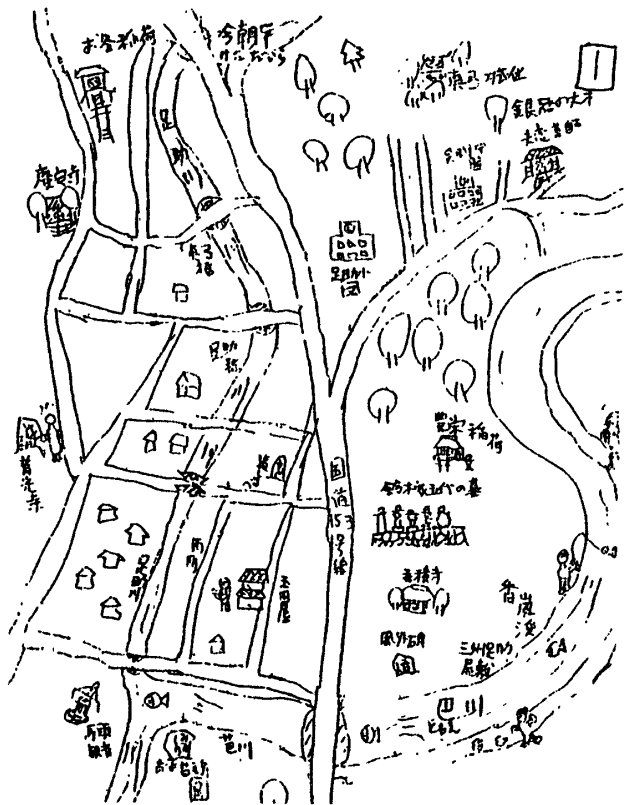
- ゴミ焼却場（猪子石、鳴海、南陽）
- 49%~40%.....大首根商店街、藤ヶ丘商店街、小幡緑地
- 39%~30%.....中央郵便局、中日新聞CBC、長者町、明治用水、興正寺、NHK中央埠頭、県庁
- 29%~20%.....笠寺観音、円頓寺商店街、鍋屋上野浄水場、築地口商店街、見晴台遺跡、南陽町（輪中）
- 19%~10%.....名港9号地、三菱自動車大江工場、有松鳴海絞工場、サッポロビール（鶴舞）プラザ、明道町商店街、東谷山下之一色（水産業）笹島（コンテナ）中川社会教育センター、中央児童館（杵中）県警本部、裁判所、老人ホーム、県ガンセンター、自由ヶ丘（住宅地）、戸田荘、大高城跡、桶狭間古戦場、東山古窯跡、竜泉寺、白鳥古墳、豊国神社、荒子観音、緑化センター
- 9%~1%.....名港新名古屋火力、大同工業、庄内川北部の染色工場、白鳥貯木場
- 西区新道扇子工場、橋町仏壇店、日本陶器、FM愛知、本山气象台、黒門町百人町（格子戸の古い住宅地）末盛城跡、西志賀貝塚、洗堰、大樹寺、足助町、瀬戸陶土採掘場
- 0%.....勤兵衛用水（中川区）知立山車文楽、御油松並木

4 事前指導（1983年度の例）

45のテーマを設定、生徒一人1テーマを勉強し、資料集を作成。

- ①イラストマップづくり②香嵐溪の四季③香嵐溪のもみじと参栄和尚④香積寺⑤風外和尚⑥飯盛山経塚⑦飯盛山城⑧足助次郎重範⑨足助重治⑩足助重春⑪足助八幡宮⑫足助神社と雁塚⑬十王寺⑭夫恋薬師⑮鈴木氏五代⑯足助と戦国時代⑰足助の町並⑱中馬街道⑲足助の町の発展⑳足助の石仏㉑芭蕉の句碑㉒西町の町並㉓荷ノ口会所跡㉔足助の民話獄の宮の木像㉕民話・装束塚㉖神馬の絵馬㉗民話またたき如来㉘民話・夫恋薬師㉙民話釜淵㉚お釜稲荷㉛ドモ婆の墓㉜綾瀬のしば栗㉝大鷲院の怪猫㉞新町の町並㉟普光寺㊱マンリン小路㊲宝珠院㊳本多家陣屋跡㊴田町と慶安寺㊵今朝平遺跡㊶塩の道㊷加茂一揆の原因㊸加茂一揆・うちこわしのようす㊹加茂一揆・経過と結果㊺足助氏と京都の遺族の

① 生徒の書いたイラストマップ



⑧ 生徒のレポート

NO8

足助次郎重範（あすけじろうしげのり）

足助次郎重範は足助氏7代目で1301年に生まれました。1331年討幕の兵をおこした後醍醐天皇側に参加した。『太平記』によると重範は笠置山の東口につかた伊勢・伊賀・尾張・三河・遠江の兵25000人にむか、こゝ三河国の佳人足助次郎重範かたじけなくも一天の君にたのまれまいらせこの城の一の木戸を聖めたり。前陣に遊んたる旗は美濃・尾張の人々の旗と見るはひがめか」と名のりをあり強弓をひきしほ、こゝ二町あまりはなれた荒尾九郎・弥五郎兄弟を二矢に射たおしたという20日あまりにわたる戦いのうち城はおち重範は翌年元弘2年京籠六条河原で斬首された（元弘の变）

29



それからあれこれ手を足してみましたが、どうすることもできません。それからこの洲を「釜淵」と呼ぶようになったのです。

つながり

45のテーマに対し、足助の地誌の本から抜粋し、生徒に配布。レポート用紙一枚にまとめて提出させた。

5 しおりの作成 (1984年度の例)

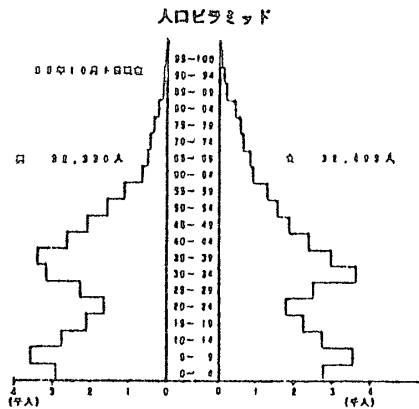
- しおりの構成
- A 略地図, 行動範囲の限定
 - B 集合時間, 場所等当日の日程表
 - C 持ち物
 - D 資料
 - E レポートの課題, 期限等
 - F 諸注意
 - G バス内座席

ここではDの資料について内容を紹介します。地図, 図表, 統計, など7~8ページの分量で, 1984年度知多半島北部西岸地域の野外学習では次のような資料を選択した。

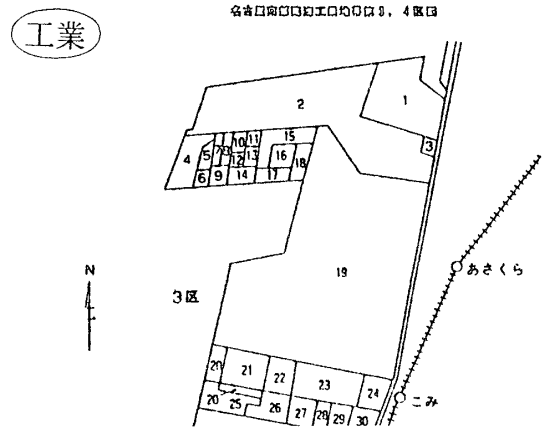
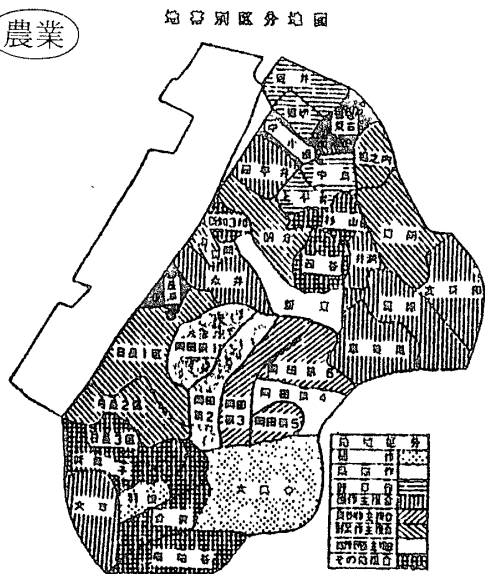
(a)人口(b)農業(c)工業(d)商業(e)漁業につき, 下車地点知多市に限定し, 統計と図表をのせた。対象の地域が狭いほど, 見学する一つ一つの事象状況をとらえるのに有利である。知多市作成の統計に依存しているが, この地域の変容をうながす要因に注目するように設問をつけ加えた。

人口

知多市



農業



No.	工場名	面積(千㎡)	品名	竣工開始
1	中興電力知多第二火力発電所	184	火力発電	558.7
2	石川島播磨重工業知多工場	749	建設用金口加工	548.5
3	知多市南野センター	18	ゴミ焼却	558.10
4	日新製鋼名古屋第二工場	69	鋼合板	543.11
5	日本原工知多工場	12	鋼合板	544.11
6	名古屋地産パイロ	7	炭粉	544.7
7	存興印刷	22	炭	544.7
8	ワンダレックス	6	鋼管	560.4
9	マントラル	9	鋼	546.11
10	日及製鋼名古屋工場	13	鋼	564.5
11	中興製鋼名古屋工場	21	鋼合板	561.4
12	大塚製鋼名古屋工場	7	鋼合板	543.12
13	大井製鋼	28	炭	546.4
14	京浜ドレンローネタル	15	炭粉	547.7
16	ワンダレックス知多工場	49	アルコール	548.11
18	双石くみあい印刷	36	鋼合板	547.4
17	会昌パイロ	52	炭粉	546.10
19	金田パイロ製鋼合板	24	炭	548.10
19	中興電力知多第二火力発電所	1,675	石油	548.10

6 バス内説明 (1985年度の例)

行程・車窓景観	説明事項
[学校] (名古屋大学構内) —— 東山元町 —— 東山動物園 —— 東山工業高校 —— 猫ヶ洞池 —— 自由ヶ丘 —— 赤坂町 —— 主税町 —— 名古屋城 —— 本町通 —— 東海銀行貨幣資料館	「窓から手を出さないように」 ○バスガイドから諸注意 「東山動物園, 平安時代は何があった?」 ○八事屋・唐山屋, 東山古窯跡と「吉木曾川って知ってるか」濃尾傾動地塊 「このアパート群はいつごろできた?」 ○高皮成長期の住宅地 ケ洞池 —— 自由ヶ丘 —— 赤坂町 —— 主税 町 —— 名古屋城 —— 本町通 —— 東海銀行貨幣資料館 資料館にて下車見学
(以下略)	「幹線バス, 乗ったことある?」 ○全国初のバスレーンと交通渋滞 「なぜ北へ行くと下り坂?」 ○台地地形のはずれ 「どこから旧城下町らしくなるかな」 ○旧城下町と新市街 「古出来町はいつできた?」 ○町名の由来 「大坂の陣知っているか, ひとつまちかえは名古屋の陣」 ○城かこの場所につくられた理由 「なぜ木奥の長者町が栄えるのか」 ○長者町の繁栄と古領軍の本町通り規制

説明の論点は、地形、地域の特色。歴史的背景について興味を持たせることにしている。立地の分析的観察、他との関係、原因、「なぜ……だろう。」の形で、生徒に疑問を投げかける。下車数分前からは下車地点の観察のポイントを提示。見学後、乗車出発後に、見学地での企業の人、学芸員の人による説明の補足、解説などを心がけている。

7 生徒の感想（1985年度）

3月5日に私たちは野外学習に行きました。私はとくに長者町問屋街が印象にのこりました。問屋ってというのはどんなのかなあと考えていたらあんがい大阪などの商店街のようにいっぱいあって、すぐにとけこめるような気がしました。話しはかわりますがこの問屋街は繊維を扱う店が多くありました。やっぱりきれいなもの売るところだけあってとっても店内は清潔な気がしました。呉服屋さんや服のきじなどを売っている問屋さんは、靴を脱いであがってしっかり商品を見ていくようになっていました。このへんは昔のなごりかなあと思いました。昔といえば、今とはちがって商品は見本しかおいていなかったのがもう今では、いっぱいの商品がおいてあります。なんでこんなに出しておくのかなあと思いましたがこれは、価値感を出すためだったそうです。問屋街の人々は、いろいろなことに気がついてうまく商売をやっているなあと思いました。もし私が問屋の主人だったらただ人の多さに驚きながらも商売はできないと思います。それに問屋街の人たちはとてもあいそがよく気がつく人たちだとも思いました。なんか初めて会った感じがしませんでした。とってもしゃべりやすく思いがけないことなどが聞けて本当に勉強になったと思っています。

こんどは又活気あふれる所へ行ってまたいろいろな話をきいて驚きたいと思いました。 I

私が野外学習の中で、貝殻山貝塚資料館と朝日遺跡の発掘現場で見たことがとても印象に残りました。まず、資料館で見た、埋葬人骨の事です。初めにはせ物だと思いました。でも、学芸員の話でも本物だと言われたときは、驚きました。それに、貝が沢山でてきたことから、川が近くを流れていた事や何時代の頃なのかもわかるのはすごいと思います。発掘現場では、方形周溝墓と女性の人骨が形を残したままの形で見る事ができたのは、とても幸福です。先生のお話では、権力の持ち主の夫人かまたは、親族の方ではないか。

と言っていました。その他にも、一日に十五箱から十八箱分の装しよく品や、土器などが発見されるそうです。私は発掘現場の様子はテレビや新聞で見ているけど、実際にその場所で見たり、聞いたりしたのは初めてで、とても感激しました。しかし、先生の話では、発掘が終わってしまうと、あの場所には道路が通るそうで、とても残念でなりません、でも先生が言われた「先祖の残してくれたせっかくの文化を失いたくはない。発見してその様子を本にでも残しておくのが私たちの役目。」と私も同感でした。いくら科学が発達しても先祖が残してくれた文化を失ってはいけないと思いました。私にとってとても良い経験になったと思います。 II



1986年3月5日 長者町繊維問屋街



8 おわりに

今回、本校社会科野外学習の推進者である地理原幸宏、歴史丸山豊、両氏のすすめにより野外学習の記録をつくることになった。筆者自身、1977年度の第1回より第九回まで濃淡の差はあれ、毎回かかわってきたことになる。筆者にとっては難事であったが、間断なく、根気よく社会科として続けてきたことの一端をここに記録する。